

→ [トップメッセージ](#) [JFRが考える「Well-eing Life」とは](#) [サステナビリティ担当役員メッセージ](#) [マテリアリティの特定と拡充](#) [サステナビリティ方針](#) [主要事業会社が考えるサステナビリティ経営](#) [ステークホルダーエンゲージメント](#)

TOP MESSAGE

トップメッセージ

不確実な時代を生き抜く サステナビリティ経営

J.フロント リテイリング株式会社 取締役兼代表執行役社長 好本 達也

岐路に立つ私たちに求められるもの

地球温暖化や海洋汚染など地球環境の問題はすでに待ったなしのところまで来ています。そして東日本大震災、新型コロナウイルスのまん延など近年様々なことが起きています。その結果、環境課題や社会課題が浮き彫りになってきました。また新型コロナウイルスのパンデミックで世界の自国第一主義や経済格差が加速しました。

なぜそうなってしまっているのか。今まで世界を動かしてきた資本主義経済の仕組み、その中で自分たちの会社

が成長してきた事など、自分たちが当たり前として受け入れてきた世の中の仕組み自体がすでに限界を超えているのです。

私たちは先達の残してきたものを守り続けなければなりません。そしてそれを未来の地球、未来の子どもたちにつないでいかなければなりません。それは環境だけではなく企業も同様です。今、私たちの生きるこの時代はまさにその岐路に立たされているのです。

今、私たちに求められているのは、長期志向を持って、社会課題の解決と企業の成長の両立という、ともすれば

相反する事柄を乗り越え同時に実現することです。この困難な課題を解決するために、私たちは激流の中で目指すべき方向性を明らかにし、自分の足でふんばり進んでいくしかないのです。

それこそが今回当社が掲げた「サステナビリティ経営」です。サステナビリティ経営はすべての企業としての取り組みの大前提となる考え方であり、私たちは常にこの未知の課題の解決策を考えながら企業の持続的成長を実現していかなければならないのです。

→ **トップメッセージ** JFRが考える「Well-being Life」とは サステナビリティ担当役員メッセージ マテリアリティの特定と拡充 サステナビリティ方針 主要事業会社が考えるサステナビリティ経営 ステークホルダーエンゲージメント

TOP MESSAGE

JFRがめざすサステナビリティ経営

JFRグループは、2021年度からスタートした中期経営計画において、サステナビリティ経営の考え方を明確にし、グループビジョンの“暮らしの「あたらしい幸せ」を発明する。”ことのゴールの姿として「Well-Being Life(心身ともに豊かな暮らし)」を掲げました。そして、その実現に向け、マテリアリティの充実と拡大を行いました。

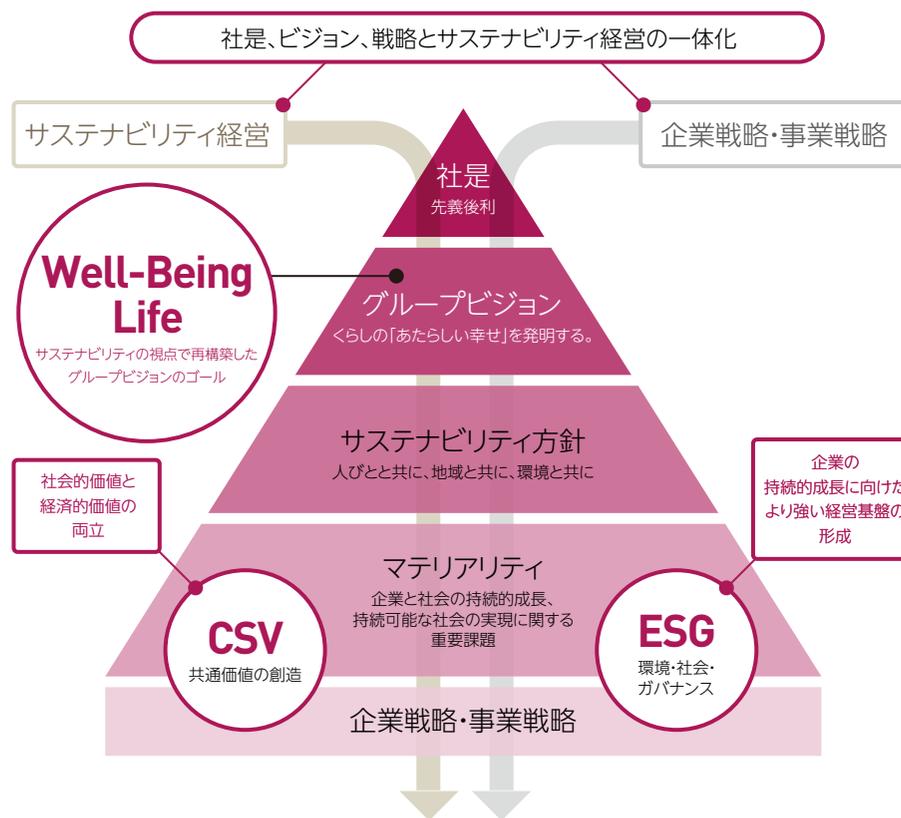
これからの持続可能な事業成長を考えるうえで、サステナビリティと企業戦略・事業戦略の一体化をはかる取り組みは大変重要です。

当社グループは長年基軸としてきた社是「先義後利」があります。お客様をはじめ社会に寄り添い、事業を通して課題解決に取り組んできました。今後も社是やその精神を受け継いだグループビジョン “暮らしの「あたらしい幸せ」を発明する。”を実現する事業活動を通じて、サステナビリティ経営を推進していきます。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により世界が一変し、社会構造や消費構造が変わろうとしており、小売業に求める価値も変化しつつあります。不透明感が増す中、サステナビリティへの取り組みを推進し、グループビジョンを実現していくために、私たちは、コロナ禍を経たこれからの新しい豊かさ、安心、幸福につながるモデルについて、熟慮し、論議を重ねました。その結果、私たちが目指すべきグループビジョンのゴールは、すべての人の

「Well-Being Life(心身ともに豊かな暮らし)」の実現との結論に至りました。

サステナビリティ経営の全体像 = ESG、CSV等を包含する経営の枠組み



→ [トップメッセージ](#) [JFRが考える「Well-being Life」とは](#) [サステナビリティ担当役員メッセージ](#) [マテリアリティの特定と拡充](#) [サステナビリティ方針](#) [主要事業会社が考えるサステナビリティ経営](#) [ステークホルダーエンゲージメント](#)

TOP MESSAGE

すべてのステークホルダーに Well-Being Lifeの実現を

当社グループが考える「Well-Being Life」とは、従来の物質的豊かさ、経済的豊かさに加え、精神的豊かさ(知的、文化的豊かさ)、身体的豊かさ、社会的豊かさ、そしてそれらを取り巻く環境の豊かさを実現した「心身ともに豊かなくらし」です。JFRは、世界中、日本中の文化に根差すモノ・コトと消費者をつなぎ、「美」「健康」「高質」「カルチャー」「信頼」と「持続可能性」「つくる人とつかう人をつなぐ能力」を掛け合わせた視点で提案することで、ステークホルダーの皆様の「Well-Being Life」を実現していきます。

また、サステナビリティ経営とは社会課題の解決と企業成長を両立する経営です。その具体的な取り組みは「CSV: Creating Shared Value: 共通価値の創造」として実現していきます。CSVの取り組みを通して、お客様、従業員、お取引先様などすべてのステークホルダーの「Well-Being Life(心身ともに豊かなくらし)」を実現していきます。その実現に向けて今後当社グループが取り組む重要課題が7つのマテリアリティです。

私たちはサステナビリティへの取り組みを強化し、社会課題の解決に取り組んできました。しかし、まだまだ多くの社会課題は未解決のままです。

当社グループは、今後もサステナビリティへの取り組みを推進し、日本政府の掲げる「脱炭素社会の実現」に企業

として貢献すると共に、事業の成長を通してひとつでも多くの社会課題を解決することに取り組んでいきます。



2021年9月

好本 連也